

7年ぶりに『live image BEST』が開催されました。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



2026年2月8日（日）、9日（月）の2日間にわたって、医療法人 健育会 presents 『live image（ライブ・イマージュ）BEST』が、東京都千代田区にある東京国際フォーラム・ホールAにて開催されました。



健育会グループが2010年から10回連続で冠協賛を続けているリラクシング・ミュージックのコンサート『live image BEST』が、コロナ禍を経て7年ぶりに開催されました。『live image』は、開催以来223公演、累計約63万人を動員している屈指の人気コンサートです。

今回のコンサートには、健育会グループが日頃よりお世話になっている方々を2日間の公演に約350名ご招待いたしました。開演前や幕間の休憩時間には、貸し切りのラウンジにて軽食とお飲み物をお楽しみいただき、和やかなひとときを過ごしていただきました。



オープニングアクトでは、8日にBudoさん（ピアノ）、9日に石井琢磨さん（ピアノ）、そして男性ヴォーカルユニットのREAL TRAUMさんをご登場し、会場を温かな空気で包み込んでくださいました。

本編では、『live image』ではなじみ深いメンバーである、鳥山雄司さん（ギター）、宮本笑里さん（ヴァイオリン）、加古隆さん（ピアノ）、羽毛田丈史さん（ピアノ）、小松亮太さん（バンドネオン）、葉加瀬太郎さん（ヴァイオリン）と、オーケストラ・イマージュの方々による演奏が披露されました。

『live image』の象徴とも言える耳なじみ深い名曲の数々を、名だたるアーティストたちが熱演しました。これまでの歩みを慈しむように思い出を振り返り、再び同じ舞台に集えたことへの喜びを語る姿が印象的でした。情景が浮かび上がるような美しく情熱的な調べは、深い癒やしを与えてくれるとともに、身体の奥底から大きなエネルギーを呼び起こしてくれるものでした。

宮本笑里さんによる「風笛」の澄み渡った旋律は、凜とした風が頬を撫でるような心地よさへと誘い、羽毛田丈史さんの「地球に乾杯」は、壮大なスケール感で生命の力強さを感じさせてくださいました。

そして本編のラスト、葉加瀬太郎さんと小松亮太さん、鳥山雄司さんのセッションによる「情熱大陸」では、会場の盛り上がりが高潮に達しました。観客は総立ちとなって大きな手拍子を送り、会場全体が音楽と一体化する熱気に満ちたステージとなりました。



アンコールでは、出演アーティスト全員が再びステージに登場し、客席を大いに沸かせました。その際、音楽監督の羽毛田丈史さんから「医療法人社団 健育会の竹川理事長のお力添えによって、このコンサートを開催することができています」という多大なる感謝のお言葉をいただきました。続いて、葉加瀬太郎さんがマイクを持ち、舞台上から客席に座る私をご紹介してくださいました。



アンコールの1曲目には、葉加瀬太郎さんが健育会グループ60周年のために作曲して下さった「Together We Walk」が、『live image』ならではの特別編成で演奏されました。伸びやかなヴァイオリンの調べに、ギターやバンドネオンの個性溢れる響きが溶け合い、楽器一つひとつの音色が際立つ、重厚かつ繊細なアンサンブルが会場に響き渡りました。

続く2曲目には、アンコールの恒例曲である「マイ・フェイバリット・シングス」に加古隆さんを迎え、その至高の演奏で観客を魅了しました。コンサートは惜しめない拍手の中で大盛況のうちに幕を閉じました。



終演後は、お越しいただいた皆様をお見送りいたしました。皆様からも大変ご好評をいただき、『live image』を通じて癒やしのひとときをご提供できたことを心より嬉しく感じました。



その後、熱量に満ちたステージへの感動を直接お伝えするため、アーティストの方々の楽屋を訪ね、ご挨拶をさせていただきました。



それぞれ個性の異なる楽器が重なり合い、一つの音楽を創り上げるオーケストラの姿は、健育会グループが掲げる「Our Team」の理念に通じます。素晴らしい音楽の調べのように、健育会グループもまた、皆様に癒やしや活力を生み出していただけるような取り組みを、日々積み重ねて参りたいと思います。